

TK通信 3月号

3 / 20 / 2023 / VOL 009

令和4年度 御殿場西高等学校 修了式 2023年3月20日（月）



みなさん、おはようございます。本日、3月20日をもって今年度が修了となります。新体制、新教育ビジョンでスタートした4月から早くも一年。あっという間の一年間でしたが、面白い一年でした。いろんな意味で。変化をするというのは、いいことばかりではないです。変化の中でトラブルや失敗はつきものです。波風を立たさないように、出る杭は打たれるとかよく言いますが、波風が起らない、出る杭が一つもない組織には成長などあり得ません。時代の変化の流れについていけずに、生きた化石になって消えていくだけです。大変だから面白いんです。

本日の話の内容の一つ目は、**振り返り、リフレクション**です。一年を振り返る時、何ができるようになったのかを考えますよね。できることが増えることは素晴らしいことです。でも、もっと振り返ってもらいたいのは、こっちです。何ができていないのかです。一年間で改善できなかったこと、自分のまだまだ弱い部分について理解することです。そして、もっと重要なのは、そのできないことに対して、自分はどんなアクションを起こしてきたかです。**ダメな自分がわかるのは第一歩、そしてもっと大切なのは、ダメな自分をなんとかしようとするような努力をしてきたかです。**だからできるようになったこと、いい結果などよりも、できない部分とどう向き合ってきたのかを考えてください。もっと言えば成功の反対は失敗ではなく、何もしないことです。アクションを起こそうとしたのかどうか、それが継続できたか、ぜひ考えてみてください。

さて、2つ目は「**自責と他責**」について。自責ってつまり、自分の行動の責任は自分にあると考えることです。その一方で他責は、何か思い通りにならないこと、うまくいかないこと、失敗の原因は自分以外にあると考えることです。この他責的な考えの人は、すぐ人のせいにしたり、言い訳したり、文句ばかり言いますよね。アクションも起こすことなく。これって主体性とか自律の真逆じゃないですかね。いわゆる大人というのは、自責的な考え方ができる人で、それがきっと社会人らしさなのだと思います。自分はどうですか？自責的な考えですか、他責的な考えですか？

さて、3つ目は令和5年度について。4月から令和5年度がスタートします。変革2年目となる来年は、今年と比べ物にならないほど変わると思っています。圧倒的に学校改革が進行します。その中心には生徒の皆さんがいることとなります。さて、**その変革の際に求められるものってなんでしょう。まずは「主体性と自律」、自分で考え判断し、ルールを理解して責任ある行動がとれること**です。さらにこの4つのCという考え方、本当にそうかな？という批判的思考力、だったらこうしてみたら？という創造的思考力、さまざまな他者、世代、性別、国籍に関係なく協働する力、一方通行ではなく双方向型で思いや考えを伝え合う対話力。めちゃ大事です。そして、失敗から素早く学び、最後までやり切る力です。100回失敗でいいんです。でも101回目のチャレンジしてみてください。それができるのがこれからの御殿場西高校の生徒となります。他の学校では絶対にできません。御殿場西高校だからできる、御殿場西高校だから枠を外していける。Go Beyondという言葉、ぜひ覚えてください。枠を超えていこうという意味です。固定的な当たり前を見直していくこと、決めつけを見直して、枠を超えてチャレンジしていくこと。**変革2年目の令和5年度をぜひ泥臭く、必死こいでやり抜きましょう。**

離任式を行いました。

今年も別れの季節がやってきました。この3月末をもって11名の先生方が本校を去ることとなりました。短期間で本校を去る先生、長年にわたって本校を支えてくださった先生、事務職員として本校を支えてくださった先生など多くの先生が去る形となり、寂しい気持ちでいっぱいです。55年間本校で勤務した津田栄一郎先生は、本校の創立時代を知る数少ない先生であり、御殿場西高校のレジデント教員の一人です。いろんな先生方の情熱があったからこそ、今の御殿場西高校があり、1万5千人を超える卒業生に支えられる学校となっています。先生方との出会いから学んだこと、成長できたことは学校としてもたくさんあり、これからの御殿場西高校の未来に必ずつなげていきます。離任される先生方、これまで本校を支えてくださり、誠にありがとうございました！

志願者+100、入学者+50

今年度の御殿場西の受験者は昨年度に比べ、**100人増**となりました。また**入学者数も50人増**が決定しました。これは本校の魅力や、生徒たちの努力が、中学生に届いたからであると思います。今、トータル的に本校の地域での見方がガラリと変わりつつあります。生徒が主役の学校、生徒一人ひとりが当事者になっている学校、生徒が本当の意味で輝く学校になっていきましょう。来年はさらに面白い学校を作っていきましょう！



田原陽之介先生がご逝去されました

3月7日（火）に事務職員の田原陽之介先生がご逝去されました。本校では二年間のご勤務でしたが、残してくださったものは非常に大きく、御殿場西高校の変革を陰で支えてくださっていました。多くの生徒たちからも慕われ、休み時間には田原先生の周りは生徒たちでいっぱい。生徒が悩みを相談すると「いいだよお」と言って励ましてくれる、そんな田原先生の優しさに、多くの方が力をもらいました。3月末での退職が決まった際、校長室で「この最後の一年間が本当に面白かった。」と田原先生は言いました。私は一生この言葉を忘れません。常に「生徒が一番、生徒の学びを第一に」を大切にしていた田原先生、あなたが残してくれたものを、私は必ずこれからの御殿場西高校につなげます。本当にありがとうございました。

保護者の皆様へ

一年間、本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございました。変化の多い一年間で、ご迷惑やご心配をおかけしたことも多い中、生徒の皆さんと学校を支えてくださり、心より感謝申し上げます。

昨年度、私には忘れられない思い出があります。文化祭で保護者の皆様が模擬店を出してくださった時、生徒や先生方と楽しそうにお話しされる保護者の皆様の姿がありました。学校は先生が作るものではありません。生徒と保護者、地域の方々と一緒に作るもの。御殿場西高校の1番良い部分ってここなんだと改めて気づくことができました。

御殿場西高校はまだまだスタートしたばかりの学校で、来年度以降も変革の真っ只中に生徒の皆さんはいることとなります。変化することを恐れることなく、日々改善し成長していく楽しみを感じながら、本校での学びの日々を過ごしてもらいたいと思います。保護者の皆様、来年度も何卒よろしくお願いいたします。



GO Beyond